

保護者のみなさま

香里ヌヴェール学院小学校

校長 東山さゆり

2022 年度 学校評価について

保護者のみなさまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は本校の教育活動にご理解とご支援を賜りまして、誠にありがとうございます。

昨年 12 月上旬に子どもたち及び保護者のみなさまに 2022 年度の学校評価アンケートを実施いたしました。今年度の本校の教育活動について、評価・ご意見をいただきありがとうございます。子どもたちのより良い育ちのため、みなさまのご意見を活かして取り組んでまいります。

裏面には全校保護者様のアンケートの集計結果を掲載しております。各学年の児童対象アンケートの結果と考察は、別紙にて配付いたします。

（１）保護者様アンケート集計結果から

【お子さまの成長に関わる項目より】

前年度と同様、「①わが子は自分のことを大切に思っている」「②わが子は友だちを大切に
する子どもに育っている」「③わが子は自分の力を人のためにつかう子どもに育っている」では
肯定的な評価が 95%を超えています。カトリックの価値観である、自分と周りの人を大切に
する心が育っていることを大変うれしく思います。一方で、登下校のマナーについてお叱りの
連絡をいただくことがあります。クラスや全校朝礼でもマナーについて子どもたちに伝えて
いますが、身近な人や友だちへの気遣いができていても、公共の場所にいる方々への意識は
どうしても低くなってしまいうようです。身近な人だけではなく、周りにいる人たちを大切に
する言葉・行動がとれる心を育めるよう努めてまいります。

「④わが子は進んで学習する子どもに育っている」「⑤わが子は苦手なことに挑戦し、努力
することのよさを感じる子どもに育っている」では「そうは思わない」の評価が昨年より少し
減少しました。子どもたちが粘り強く学習に取り組むことができるよう働きかけていきます。

【教育活動に関わる項目より】

「⑧わが子は学校が楽しいと言って行くのを楽しみにしている」「⑪学校は基本的な知識・
技能の定着に向けた授業を行っている」「⑫学校は子どもの努力を認めたり励ましたりして、
温かく接しようとしている」の項目で 90%以上の肯定的な評価となり、学校が取りくんでいる
教育活動をおおむね評価していただけたことをうれしく思います。「⑫わが子は授業が楽しく
わかりやすいと言っている」の項目では 12.3%の方が「そうは思わない」と評価しています。

研究部を中心に校内研修をより活性化させ、より分かりやすく楽しい授業を目指します。

「⑬学校は、英語に親しみ、外国の文化に関心を持てるように工夫している」では「そうは思わない」の評価が前年度の 15.0%から 6.4%に減少しました。全校朝礼で外国人教員の出身国を紹介し、子どもたちがその国について調べる「ヌヴェールワールドツアー」という取り組みも行っています。職員室前のモニターや大廊下の掲示板に、子どもたちが作成したスライドや子どもたちが調べた各国の資料も掲示しています。本校には 10 名の外国人教員がいます。子どもたちがたくさんの国の文化と触れ合えるような取り組みを考えていきます。また今年度は 4 年生・5 年生の SEC で 2 泊 3 日の英語合宿も行うことができました。

「⑭学校は、ICT 機器を積極的に活用した授業を行っている」の項目でも大変良い評価をいただきました。昨年夏に校内の Wi-Fi 環境を整え、インターネットへの接続環境が改善されました。授業の中で ICT 端末を使用する頻度も上がってきています。また全ての教室に大型テレビも設置いたしました。ロイロノートの導入など、学年に応じて必要なアプリケーションについても検証し、子どもたちにとってより良い ICT 環境を整えていきたいと思います。

「⑮わが子を香里ヌヴェール学院小学校に入学させて満足している」では 90%以上の肯定的な評価をいただきました。これからもカトリック精神に基づいた教育を通して子どもたちを育み、本校に入学してよかったと思っていただけるよう努めてまいります。

(2) 保護者様アンケート自由記述から

アンケートでは学校に対するご意見・ご指摘をたくさんいただきました。いただいたご意見を教職員でしっかりと確認し、改善及び今後に生かしていきたいと思います。アンケートの中から一部を掲載させていただきます。

【子どもについて】

- ・最近生徒からの挨拶があまりなく、寂しく感じる。
- ・高学年になって言葉遣いや思いやりに欠く行動が見られる。

【学校の取組、教育活動について】

- ・算数などで、到達度に応じて、レベル別の指導をしてほしい。
- ・運動会などの行事に兄弟も連れていけるようにしてほしい。
- ・ICT を使うことは今後の教育の中核となり良いと思うが、使い方には注意が必要。デジタル一辺倒になることは避けてほしい。
- ・参観では色々な教科の授業を見せてほしい。
- ・手紙がペーパーレスになったのに、メール配信もあれば紙配付もあり、ややこしかった。
- ・重要なお手紙はプリントでほしい。

【給食について】

- ・学校生活の中で大きな楽しみの一つで、子ども達が給食を楽しみにできるよう、もう少し工夫して頂けるとありがたい。
- ・水曜日も給食を実施してほしい。

【学校のルール・制定品・施設設備について】

- ・運動靴の登校を認めてほしい。
- ・冬に長ズボンを許可してほしい。
- ・コートの生地には伸縮性がなく、着にくい。

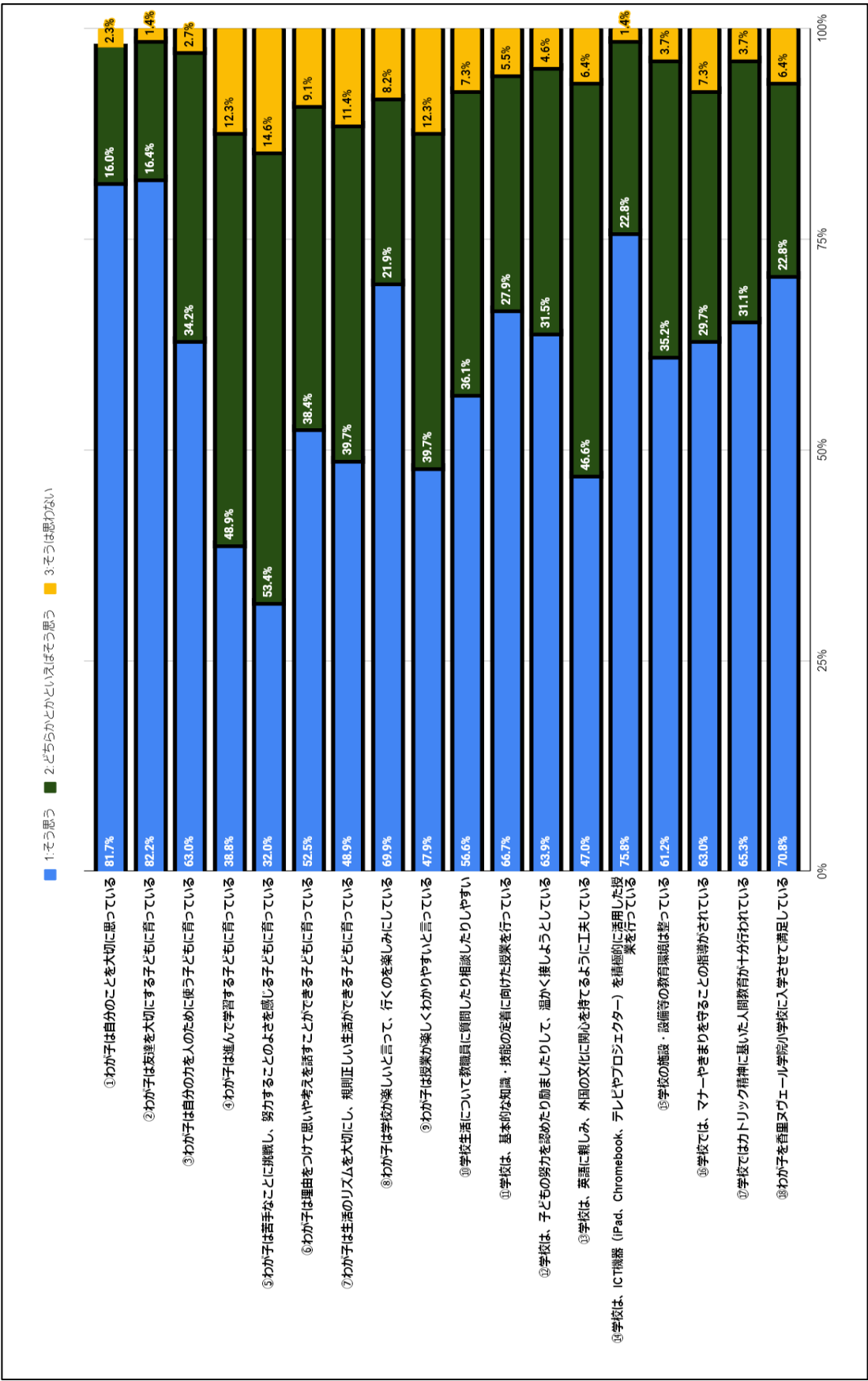
【教員について】

- ・授業を工夫して、子どもたちみんなが積極的に楽しく参加できるようにしてほしい。
- ・連絡帳や提出物・宿題のチェックを丁寧にしてほしい。
- ・聖母の良さである、一人ひとりを大切に子どもと向き合う教育をしてほしい。
- ・子ども同士のトラブルに対して、対応が消極的。

感謝・励ましのお言葉も多数いただきました。以下にまとめさせていただきます。本当にありがとうございました。

- ・いつも子どもと真摯に向き合い、優しく見守ってくださる先生のおかげで毎日楽しく学校に通わせていただいています。
- ・普通ではなかなかできないような経験をさせていただいています。
- ・いつも温かくご指導いただきましてありがとうございます。
- ・学校生活で起きた友だちとのトラブルに対して、子どもにきちんと寄り添っていただけた。
- ・子どもに愛を持って教育していただき、本当にいつも感謝しています。
- ・担任の先生が一人ひとりに合わせて可能な限り向き合ってください先生で大変感謝しています。
- ・いつも様々な取組を熱心してくださっているので、毎日楽しく学校生活を送っております。
- ・学校の温かい対応に親子ともども深く感謝しています。

■ 全校保護者様対象アンケート集計



2022年度学校評価報告書(香里ヌヴェール学院小学校)

学校目標	カトリックの宗教的な価値観を基盤として、人を愛し、自らを高める強い意志と、豊かな心をもつ子どもを育てる。
	「クリエイティブな思考力」、「自分の考えを他人にもわかるように表現する力」、「互いが納得できる最適な答えを見つける課題解決に協働できる力」の3つの力を育成し、カトリックの精神に基づいて平和な社会を作り出す子どもたちを育成する。

対話や表現力を育てるPBL授業	新しい社会を創造するために課題解決力を身につけるPBL（Project（Problem）Based Learning）の実践
英語教育	英語運用能力を基礎から段階的に培う週4時間の英語授業（SSC）／ 複数教科の授業の60％を英語で行うイマージョン教育（SEC）
ICT教育（オンライン学習）	高度情報化社会に対応する能力を育むICT教育。コロナ禍でも学びを止めないオンライン授業の実現。

重点目標	取り組み計画・内容	評価指標	自己評価
教育充実（PBL・英語教育・ICT教育）	1.PBL型授業の導入	1. PBL授業 ・各教科内におけるペアグループによる探求型教育（PBL授業）の成果があったか。 ・学年進行に合わせたPBL授業の導入・実践ができたか。 ・児童の発言や興味を活かした授業を展開したか。 ・ノート、スライド、作品などの学習記録を残し、自己評価や相互評価ができたか。	・生活科及び総合的な学習の時間を中心としたPBL（Project Based Learning）の実践に加え、授業では各単元の要所で積極的に課題解決型の学びを実践 ・低学年においては、日常の対話を通したクリティカルな授業とリフレクションをくりかえし、PBL学習の土壌となる授業を展開 ・高学年においては、「自ら課題を発見→探究→まとめ→プレゼンテーション」の実践により思考力深化を促進 ・4年SSC【総合的な学習の時間】では、企業と連携し、児童自身が商品の開発過程に携わり「社会とつながる」視野を育成 ・5年SSC【総合的な学習の時間】では外部講師と連携し「社会とつながる」ことを目的として自分の設定した課題を探究するProjectBasedLearningを実践
	2. 英語教育	（SEC） ・イマージョン授業の円滑な導入と実施ができたか。 ・複数教科を英語で学び、基礎学力を身につけることができたか。 （SSC） ・英語教育の充実を図ることができたか。 ・英語を用いて積極的にコミュニケーションを図ることができたか。	・外国人教員と日本人教員2名担任制を実施 ・60％を越える授業を英語で行うイマージョン教育を実施。（国語・社会・特活・宗教を除く） ・TOEFL Primaryを全員受検し、英語運用能力を指標として確認（英語運用能力が高いレベルに推移している様子が確認できた）
	3. ICT教育（オンライン学習）	・ICT機器（iPad/Chromebook）を学習場面で使用できたか。 ・授業の中でICTを活用して、効果的であったかを振り返り、授業の改善に活かすことができたか。	・週3時間＋モジュールタイム10分間×4回の英語授業を実施 ・英語の授業は全て外国人教員と日本人教員の2名担任制で実施し、授業以外でも、外国人教員と日常的にコミュニケーションをとれる環境を実現 ・3年生以上の希望者は英語力定着の指標として、TOEFL Primaryを受検 ・低学年からの『ジョリーフォニックス』を軸とした発音トレーニングにより、高学年での英語リスニング・スピーキング力の伸長を実現
	各種研修	・建学の精神、教育目標に基づき、実現を図る観点や方法を理解できたか。 ・各種研修を受け、授業改善・授業力向上に活かすことができたか。	①英語教育 ・SEC部会によるイマージョン教育の研究と実践の共有 ②探究型教育 ・定期的な外部講師による諸研修実施、および、研修内容を活用した授業実践の検証（教員間授業相互参観と事後研修）を実施 ③ICT 教育 ・ICT支援員によるChromebook、Googleclassroomその他アプリの活用法と、セキュリティや危機管理に関する研修の実施 ④宗教教育・人権教育 ・カトリック精神の理解と醸成のための研究（聖書）および研修 ・本校独自の人権教育カリキュラム構築のための研修 ⑤生活指導・保護者対応、特別支援教育 ・ASSESS(学校適応感尺度)を活かした学級経営 ・SCとの連携による、児童一人ひとりの成長に合わせた組織的サポートの検討 ⑥初任者研修 ・初任者指導、初任者による模擬授業、実践交流の研修会実施 ⑦西日本私立小学校連合会主催の研修会、その他自主的に様々な教育研修会に参加
教育環境の整備	安心・安全な環境の構築	・施設・設備の整備に努め、環境美化に努めたか。 ・不審者の侵入を未然に防止するため、施設の配置や防犯対策ができたか。 ・安全点検を定期的に行い危険箇所を見つけ整備することができたか。	①設備の点検と改修 ・図書館リニューアル工事 ・Wi-Fi環境の拡充工事（インターネット接続環境の大幅改善） ②防災・防犯設備 ・中学高等学校とともに、守衛体制の強化 ・各学期3回ペースの避難訓練実施 ③月に1回の学校安全点検実施と、修繕必要箇所への早期対応

学校関係者評価

- ・言葉遣い、通学マナーの徹底をお願いしたい。
- ・コロナ禍の中、学校行事（運動会・音楽祭など）を工夫して実施していただき感謝している。
- ・保護者が学校行事に参加できる機会をもっと作ってほしい。小中高総合学園のメリットを最大限活かしてほしい。
- ・SEC英語イマージョンと共に、基礎学力定着のための日本語での授業も検討してほしい。